



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月6日
上場取引所 東

上場会社名 テルモ株式会社
コード番号 4543 URL <http://www.terumo.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 新宅 祐太郎
問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 丸田 正行 TEL 03-6742-8550
四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 平成25年12月9日
四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	226,028	17.8	30,470	8.0	29,568	22.1	19,458	34.0
25年3月期第2四半期	191,832	0.6	28,208	△18.6	24,216	△22.6	14,524	△18.0

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 36,540百万円 (-%) 25年3月期第2四半期 △2,363百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	102.48	102.48
25年3月期第2四半期	76.49	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	802,510	469,932	58.6	2,474.94
25年3月期	771,032	437,909	56.7	2,304.42

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 469,928百万円 25年3月期 437,557百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	22.00	-	22.00	44.00
26年3月期	-	29.00	-	-	-
26年3月期(予想)	-	-	-	29.00	58.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	460,000	14.3	70,000	31.5	67,500	31.4	42,000	△10.7	221.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

・下期想定レート：1ドル=95円、1ユーロ=123円

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	189,880,260株	25年3月期	189,880,260株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	4,174株	25年3月期	2,646株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	189,876,720株	25年3月期2Q	189,878,729株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）における医療市場を概観すれば、米国ではオバマ大統領が掲げる医療保険改革を巡り、議会で与野党が対立し、政府機能が一部停止する事態にまで発展しました。2014年の本格実施に向けて、先行きの不透明感が拭えない状況が続いています。

我が国においては、政府が米国立衛生研究所（NIH）をモデルに設置を決めた医療分野の研究開発の司令塔である「日本版NIH」の実現に向けて、関係予算を一元化する試みが始まりました。2014年度予算概算要求では、厚生労働省や文部科学省、経済産業省の3省における医療分野の研究開発予算のうち1,382億円が「一元化」の対象になりました。「日本版NIH」では、がんや難病など疾患領域ごとの取り組みをはじめ、9つのプロジェクトを各省連携で一体的に進めることが決まっており、成長戦略の実行に向けた環境整備が進みつつあります。

このような環境の下、当社グループでは現在、「世界で存在感のある企業になる」という目標を掲げ、当期から4カ年の中期経営計画を推進しています。

当第2四半期連結累計期間においては、期首からの円安進行の追い風を受けて引き続き海外事業が好調に推移し、前年同期比で増収増益となりました。心臓血管領域事業では、国内で末梢動脈疾患治療用ステントのMisago「ミサゴ」が好調を維持するとともに、海外でもカテーテル事業が堅調に推移しました。血液システム事業は、急速に市場環境が変化し、売上に影響を及ぼし始めましたが、国内、海外ともに増収を確保しました。ホスピタル事業は国内でドラッグ&デバイス（D&D）事業やDM事業などが好調に推移しました。

その他の主な取り組みは以下の通りです。

- 心臓血管領域事業では、中期経営計画のパイプライン製品として、米国でTRI（手首の血管から冠動脈にアプローチするカテーテル手技）用の細物シースであるGlidesheath Slenderを発売しました。このシースは、内径はそのままに外径のみを細径化することで、動脈の細い患者さんへの治療が可能になるとともに、血管内壁損傷のリスクも低減できることから、更なる治療の低侵襲化に貢献できると期待されています。また、高血圧治療で使用するTRI用の腎除神経カテーテルシステムのデモンストレーションを米国の学会にて行い、参加者から非常に高い評価を受けました。ペリフェラル、ニューロ領域でローンチした新製品は順調な立ち上がりを示しています。
- 血液システム事業では、欧州でローンチした血液センターの業務効率化に貢献する血液自動製剤システムが現場で高い評価を受けています。また、新興国では成分採血の普及により売上が拡大しています。
- ホスピタル事業では、薬剤投与の安全性を高めるためにIT機能を搭載したスマートポンプの導入が、国内の大学病院や中東・欧州の病院などグローバルに進んでいます。

当第2四半期連結累計期間の業績は次の通りです。

（単位：百万円）

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響等除く 伸長率 (%)
売上高	191,832	226,028	17.8	3.7
売上総利益	100,548	117,146	16.5	△1.8
営業利益	28,208	30,470	8.0	△20.6
経常利益	24,216	29,568	22.1	—
四半期純利益	14,524	19,458	34.0	—

<売上高>

売上高は、前年同期比17.8%増の2,260億円となりました。

地域別

(単位：百万円)

地 域	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響等除く 伸長率 (%)
日 本	91,595	93,177	1.7	1.7
欧 州	34,380	45,559	32.5	3.1
米 州	41,397	54,146	30.8	5.3
アジア他	24,459	33,145	35.5	9.3
海 外 計	100,237	132,851	32.5	5.5
合 計	191,832	226,028	17.8	3.7

国内では、心臓血管領域事業が好調に推移し、前年同期比1.7%増の932億円となりました。一方、海外ではカテーター事業が引き続き好調に推移するとともに、円安進行も追い風となり、海外売上高は前年同期比32.5%増の1,329億円となりました。

<売上総利益>

売上総利益は、在庫評価などの影響はあったものの、為替や高収益品へのシフトにより、前年同期比16.5%増の1,171億円となりました。

<営業利益>

営業利益は、一般管理費と研究開発費を計画内でコントロールしたことにより、前年同期比8.0%増の305億円となりました。

<経常利益>

経常利益は、円安進行を受けた為替差益の寄与により、前年同期比22.1%増の296億円となりました。

<四半期純利益>

四半期純利益は、前年同期比34.0%増の195億円となりました。

事業セグメント別の売上高の状況は以下の通りです。

(単位：百万円)

事業セグメントの名称		前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率 (%)
ホスピタル事業	売上高	77,170	81,175	5.2	0.4
	(国内)	62,745	62,726	△0.0	△0.0
	(海外)	14,425	18,449	27.9	2.1
心臓血管領域事業	売上高	80,356	100,774	25.4	5.9
	(国内)	22,838	24,154	5.8	5.8
	(海外)	57,517	76,620	33.2	5.9
血液システム事業	売上高	34,305	44,077	28.5	6.1
	(国内)	6,010	6,296	4.7	4.7
	(海外)	28,294	37,781	33.5	6.4

<ホスピタル事業>

国内では、前期の在宅事業譲渡の影響があったものの、ドラッグ&デバイス (D&D) 事業やDM事業が好調に推移したことにより、前年同期比ではほぼ横這いとなりました。一方、海外では収益性改善を進めている北米・欧州においては現地通貨ベースで減収となったものの、アジア、中南米において好調に売上を伸ばしたことにより、現地通貨ベースで海外全体は前年同期比増収となりました。

その結果、ホスピタル事業の売上高は前年同期比5.2%増の812億円となりました。

<心臓血管領域事業>

国内では、末梢動脈疾患治療用ステントMisago「ミサゴ」が引き続き順調に売上を伸ばしました。海外では欧米を中心にカテーテル事業が堅調に推移しました。特に、TRIの普及拡大に伴い、北米ではTRI関連製品群の継続的な売上拡大が続いています。また、ニューロ領域においても新製品のバルーンとステントが好調に売上を伸ばしました。

その結果、心臓血管領域事業の売上高は前年同期比25.4%増の1,008億円となりました。

<血液システム事業>

国内では成分採血が好調に推移し、前年同期比で増収となりました。海外では治療アフレーシスが引き続き堅調に推移しました。血液システム事業の売上高は前年同期比28.5%増の441億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ315億円増加して8,025億円となりました。

流動資産は売上拡大に伴う売掛金・たな卸資産の増加等により、56億円増加して2,925億円となりました。

固定資産は成長投資及び為替影響等により、256億円増加して5,093億円となりました。有形固定資産はテルモ山口への投資等により127億円増加、無形固定資産は60億円増加、投資その他の資産は69億円増加となりました。

(負債)

負債の部は5億円減少して3,326億円となりました。

流動負債は短期借入金の返済等により、25億円減少して1,133億円となりました。

固定負債は為替影響による長期借入金の増加等により、20億円増加して2,192億円となりました。

(純資産)

純資産の部は、320億円増加して4,699億円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ1.8ポイント増加し、58.6%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

為替の動向や、医療機器市場を取り巻く環境変化など、今後も不透明な状況が続きますが、連結業績予想について変更はありません。

当社グループは、このような厳しい事業環境の中、目標を達成するため、医療経済性の向上に貢献できる高付加価値製品の導入、さらなる製造コストダウンへの取り組みや徹底した販管費の効率運用などに努めてまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	78,201	84,631
受取手形及び売掛金	95,008	96,511
商品及び製品	54,346	58,632
仕掛品	9,265	9,875
原材料及び貯蔵品	21,568	23,039
繰延税金資産	11,258	10,670
その他	18,528	10,465
貸倒引当金	△1,220	△1,317
流動資産合計	286,955	292,508
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	48,966	50,113
機械装置及び運搬具（純額）	46,366	47,608
土地	21,827	21,599
リース資産（純額）	704	560
建設仮勘定	17,794	28,200
その他（純額）	9,165	9,434
有形固定資産合計	144,824	157,518
無形固定資産		
のれん	149,322	151,643
顧客関連資産	90,706	91,654
その他	56,604	59,301
無形固定資産合計	296,634	302,599
投資その他の資産		
投資有価証券	30,304	34,139
繰延税金資産	5,153	4,051
その他	6,852	11,014
投資その他の資産合計	42,311	49,204
固定資産合計	483,770	509,321
繰延資産		
繰延資産合計	306	680
資産合計	771,032	802,510

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	37,515	36,206
短期借入金	18,046	10,519
1年内返済予定の長期借入金	3,762	3,910
リース債務	277	224
未払法人税等	2,609	7,836
繰延税金負債	35	56
賞与引当金	4,834	4,930
役員賞与引当金	109	54
設備関係支払手形及び未払金	6,624	11,864
資産除去債務	420	—
その他	41,611	37,728
流動負債合計	115,844	113,330
固定負債		
社債	80,000	80,000
長期借入金	78,712	79,833
リース債務	439	339
繰延税金負債	49,659	50,607
退職給付引当金	1,247	1,411
役員退職慰労引当金	198	66
資産除去債務	155	156
その他	6,865	6,832
固定負債合計	217,278	219,247
負債合計	333,122	332,578
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,716	38,716
資本剰余金	52,103	52,103
利益剰余金	329,188	344,469
自己株式	△9	△17
株主資本合計	419,999	435,272
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,458	10,031
繰延ヘッジ損益	—	10
為替換算調整勘定	10,099	24,614
その他の包括利益累計額合計	17,557	34,656
新株予約権	—	3
少数株主持分	352	—
純資産合計	437,909	469,932
負債純資産合計	771,032	802,510

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	191,832	226,028
売上原価	91,284	108,881
売上総利益	100,548	117,146
販売費及び一般管理費	72,340	86,676
営業利益	28,208	30,470
営業外収益		
受取利息	143	180
受取配当金	141	170
受取ロイヤリティー	55	53
為替差益	—	659
持分法による投資利益	51	68
その他	455	512
営業外収益合計	847	1,645
営業外費用		
支払利息	615	724
売上割引	298	314
為替差損	2,597	—
たな卸資産処分損	74	73
その他	1,253	1,435
営業外費用合計	4,839	2,547
経常利益	24,216	29,568
特別利益		
固定資産売却益	46	7
事業譲渡益	—	299
補助金収入	875	—
特別利益合計	921	307
特別損失		
固定資産処分損	255	151
減損損失	—	558
役員退職慰労金	—	33
事業整理損	—	873
環境対策費	390	—
特別損失合計	646	1,616
税金等調整前四半期純利益	24,491	28,258
法人税、住民税及び事業税	11,019	9,284
法人税等調整額	△1,070	△514
法人税等合計	9,948	8,769
少数株主損益調整前四半期純利益	14,542	19,488
少数株主利益	18	30
四半期純利益	14,524	19,458

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	14,542	19,488
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	632	2,572
繰延ヘッジ損益	2	10
為替換算調整勘定	△17,539	14,471
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△3
その他の包括利益合計	△16,906	17,051
四半期包括利益	△2,363	36,540
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,354	36,553
少数株主に係る四半期包括利益	△9	△13

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ホスピタル 事業	心臓血管領域 事業	血液システム 事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	77,170	80,356	34,305	191,832	—	191,832
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	77,170	80,356	34,305	191,832	—	191,832
セグメント利益	11,993	12,549	833	25,376	2,831	28,208
セグメント利益率(%)	15.5	15.6	2.4	13.2	—	14.7

(注) 1. セグメント利益の調整額2,831百万円には、たな卸資産の調整額1,085百万円、その他1,746百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ホスピタル 事業	心臓血管領域 事業	血液システム 事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	81,175	100,774	44,077	226,028	—	226,028
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	81,175	100,774	44,077	226,028	—	226,028
セグメント利益	10,865	18,797	1,876	31,540	△1,070	30,470
セグメント利益率(%)	13.4	18.7	4.3	14.0	—	13.5

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,070百万円には、たな卸資産の調整額△497百万円、その他△572百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「心臓血管領域事業」セグメントにおいて、収益性が低下した資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては558百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。